



## 制作者ごあいさつ

日本の精神病院には凡そ 30 万人が入院しています。その半分以上は、幽閉された状態です。自由意志や自己決定をはく奪されて、つまり、奴隷状態なのです。

新聞記者だった私は 48 年前に、アルコール依存症を装って精神病院に潜入し、『ルポ・精神病棟』を新聞に連載しました。その単行本は 30 万部も売れました。しかしながら、日本の監獄型治療装置群はびくともしません。

これが 60 年以上も昔の事なら、世界の国々の精神保健は、押しなべてこんな大収容主義でした。しかし、いまやこの種の人権はく奪型治療装置が有効でないことは、世界の常識です。

世界は変動しています。イタリアは 1999 年に県立精神病院のすべてを閉じました。2017 年には、国立の司法精神病院さえ閉じました。今残るのは、5000 床たらずの私立精神病院と、各州に散った数百人分の保安施設だけです。

かつて約 12 万人もの精神疾患の人が収容されていた精神病院が消えて、その 12 万人が普通の市民に戻りました。それで何が起こったか。なーんにも起きません。

トリエステの町は精神病院を閉じて 37 年になります。精神病棟の代わりに地域精神保健サービス網を敷いて、精神疾患の人々を支えています。重い病気の人が、在宅で支えられているのです。

私は齢 80 歳の年金生活者ですが、“現代の奴隷”を置き去りにして、あの世とやらの旅立つわけには参りません。

繰り返しますが、日本の監獄型治療装置は恐ろしく野蛮です。時代遅れです。この事実を、多くの日本国民に知っていただきたいと思って、映画『精神病院のない社会』の作成を思いつきました。ドイツの映像大学の学生、西村きよしさん（写真）が、撮影に録音に、八面六臂の手助けをしてくれました。

80 歳の手習いを、お笑ください。

大熊一夫（監督・ジャーナリスト）



## 精神病院のない社会 I

### 監獄型治療装置はいらない！

措置入院の被害累々  
ルポ・精神病棟秘話  
精神病院の品質は昭和 35 年に決まった  
武見牧畜発言は 1960 年  
宇都宮病院・大和川病院不祥事でも懲りない日本  
精神病院のない町トリエステ訪問  
革命的精神保健法 180 号法  
など

.....

## 精神病院のない社会 II

### マニコミオを捨てたイタリアの今

トリエステ型精神保健サービス、フリウリ・ヴェネツィア＝ジュリア州に広がる  
「人生ここにあり」のモデル健在！  
「マニコミオの終焉を祝うフリウリ州式典」  
など

インタビュー

フランコ・ロテッリ、ペッペ・デッラックア、ロベルトメッツィーナ、ミケーレ・ザネッティ、ネリーナ・ディリンディン、……などなど大勢

.....

## 精神病院のない社会 III

### 日本の「失われた 60 年」をどうする

石川信義さん（元三枚橋病院長）の“反牧畜精神病院”  
山本美幸さん（大阪精神医療人権センター）の“大和川病院戦記”  
上野秀樹さん（精神科医）の「私が受けた精神医学教育の深刻な誤り」  
半田文穂さん（精神科医）の“自由こそ治療だ”発見  
藤井克徳さん（きょうされん）「日本の精神病院は国際条約違反だ」  
などなど

（内容は一部変更される可能性があります）